

令和5年度 下水道事業会計決算概要

生活環境の向上や河川等公共用水域の水質保全を図るための汚水対策事業、並びに雨水の排除による浸水の防除を行う雨水対策事業を、計画的に実施しました。

なお、経営成績並びに財政状態を明らかにすることを目的として、企業会計方式の経理方法により、管理運営に関するもの（収益的収支）と施設の建設に関するもの（資本的収支）に区分しています。

1. 経営成績について

営業損失 3,198,029,899円、経常利益 1,134,771,895円、当年度純利益 1,125,211,794円となりました。

2. 財政状態について

令和5年度末における財政状態は、資産の部合計 233,375,347,043円、負債の部合計 166,245,813,817円、資本の部合計 67,129,553,226円となりました。

3. 建設改良事業について

四日市市総合計画に基づく推進計画に従い、汚水の処理区域の拡大並びに雨水の浸水対策等下水道施設の整備拡充を図りました。

- ・ まつの雨水2号幹線設計業務委託
- ・ 六呂見調整池築造工事に伴う基本検討業務委託
- ・ 磯津第1ポンプ場耐震補強工事
- ・ 日永浄化センター第3系統における水質計測機器更新工事 等

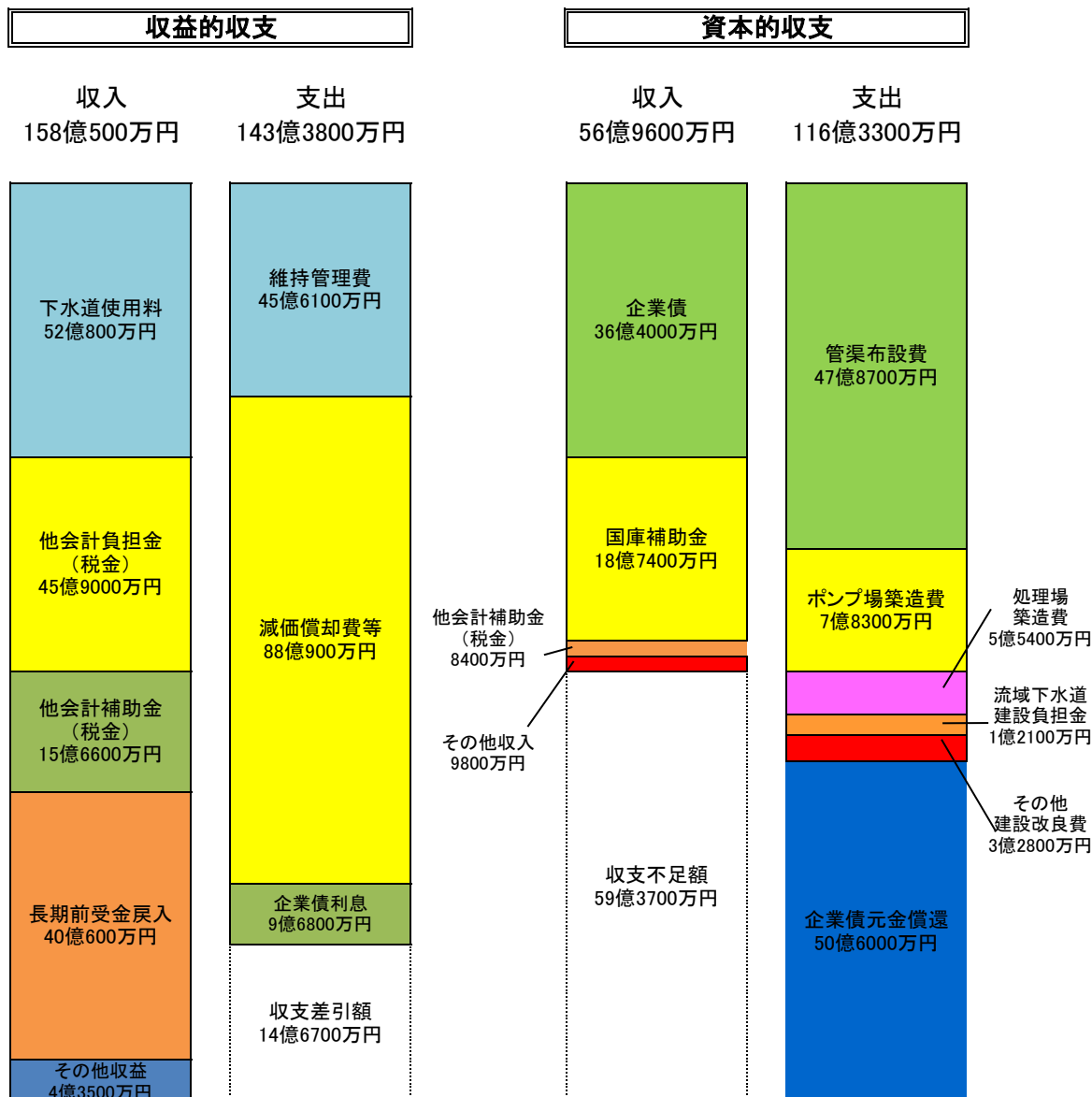
4. 普及状況

令和6年3月31日現在

項 目		令和5年度	令和4年度	差引増減
行政区域内人口 A	人	306,634	308,752	△ 2,118
処理区域面積	ha	4,951.9	4,902.0	49.9
処理区域内戸数 B	戸	120,097	118,991	1,106
処理区域内人口 C	人	252,479	251,666	813
水洗化戸数 D	戸	113,234	111,801	1,433
水洗化人口 E	人	237,920	236,182	1,738
人口普及率 C/A	%	82.3	81.5	0.8
水洗化普及率 D/B	%	94.3	94.0	0.3
水洗化率 E/C	%	94.2	93.8	0.4
供用1年後の水洗化率	%	94.5	94.8	△ 0.3
有収水量	m ³	25,266,583	25,412,422	△ 145,839
雨水排水整備済面積	ha	2,920.0	2,920.0	0.0

5. 財政状況

※税込



《収益的収支》

収入 管理運営経費の財源である収益的収入は、下水道を利用される皆様にご負担いただく下水道使用料が33%、雨水の排除や浸水の防除のために一般会計から受け入れる他会計負担金（税金）が29%、汚水処理の経費のうち一般会計負担となる他会計補助金（税金）が10%、施設等を建設する際に過去に受け入れた国庫補助金等の減価償却費相当分である長期前受金戻入が25%となっています。

支出 施設・設備の維持管理費32%、減価償却費等61%、企業債の利息7%という構成比になっています。

《資本的収支》

収入 資本的収入は、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金の財源です。その内訳は企業債が64%、国庫補助金等が33%、汚水処理にかかる他会計補助金（税金）が1%、その他（受益者負担金等）が2%となっています。

支出 管渠、ポンプ場、処理場などの建設・改良の費用等が57%、企業債の元金償還が43%となっています。
 なお、収支不足額は、前年度の利益や減価償却費などで補填しています。

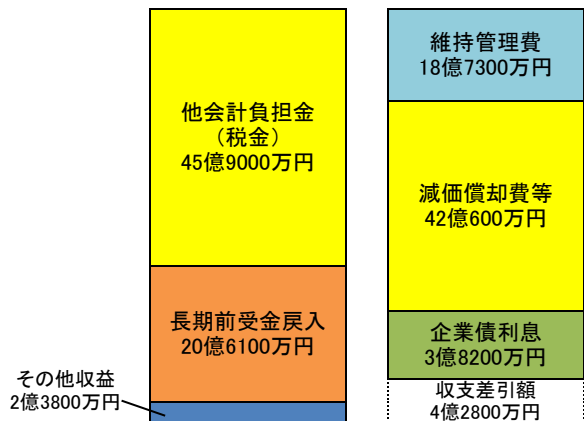
財政状況を雨水・汚水別にするると以下の通りです。

雨水

※税込

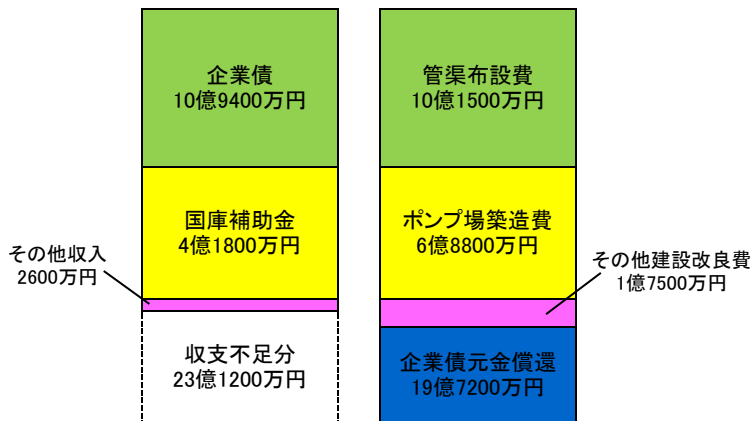
収益的収支

収入 68億8900万円
支出 64億6100万円



資本的収支

収入 15億3800万円
支出 38億5000万円

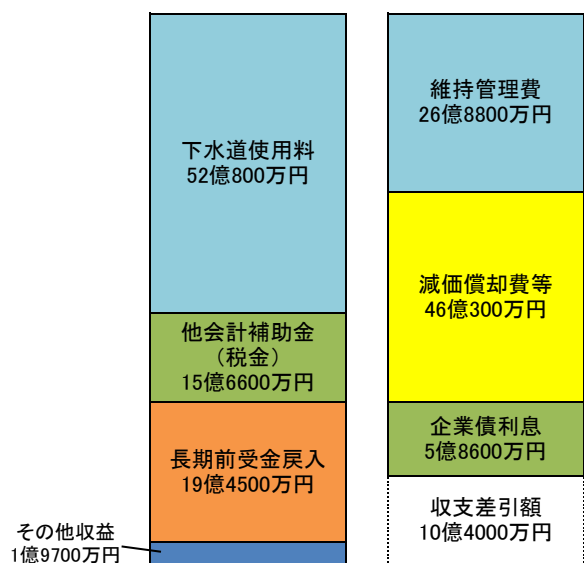


汚水

※税込

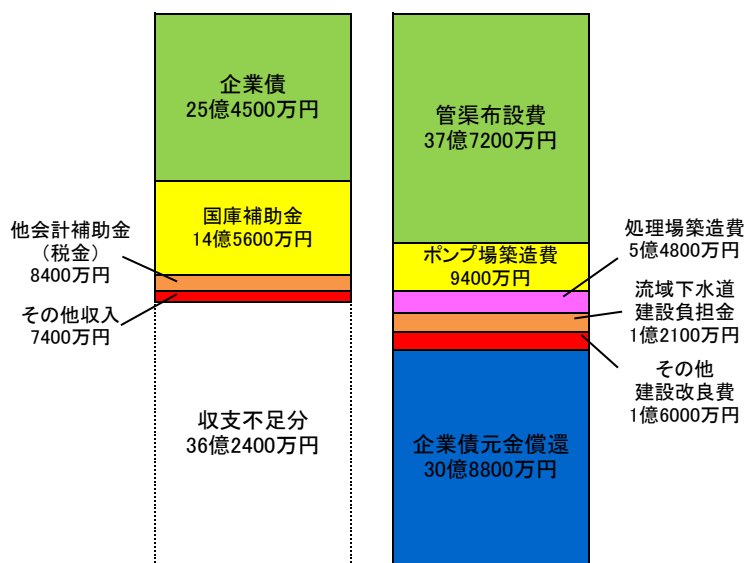
収益的収支

収入 89億1600万円
支出 78億7700万円



資本的収支

収入 41億5900万円
支出 77億8300万円

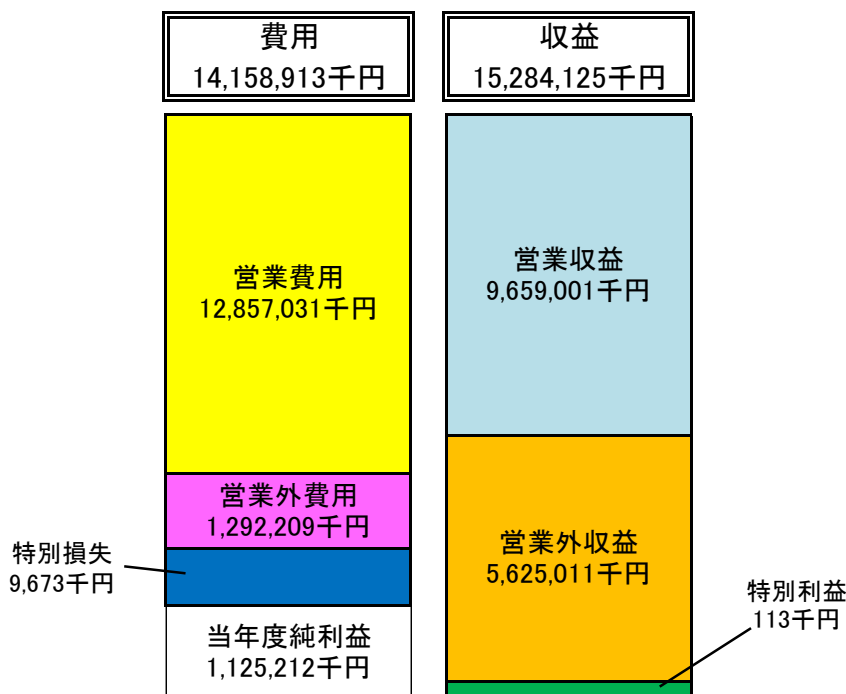


損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

単位: 千円(税抜)

費用の部		収益の部	
営業費用	12,857,031	営業収益	9,659,001
管渠費	660,253	下水道使用料	4,734,226
ポンプ場費	948,475	負担金	4,590,320
処理場費	824,346	受託事業収益	88,281
都市下水路費	228,536	その他	246,174
業務費	887,715	営業外収益	5,625,011
総係費	335,737	他会計補助金	1,566,282
普及促進費	75,063	長期前受金戻入	4,006,424
受託費	87,776	貸倒引当金戻入額	20,764
減価償却費等	8,809,130	その他	31,541
営業外費用	1,292,209	特別利益	113
支払利息	968,499	過年度損益修正益	31
その他	323,710	その他特別利益	82
特別損失	9,673		
過年度損益修正損	9,673		
費用の部合計	14,158,913	収益の部合計	15,284,125
当年度純利益	1,125,212		
合計	15,284,125	合計	15,284,125

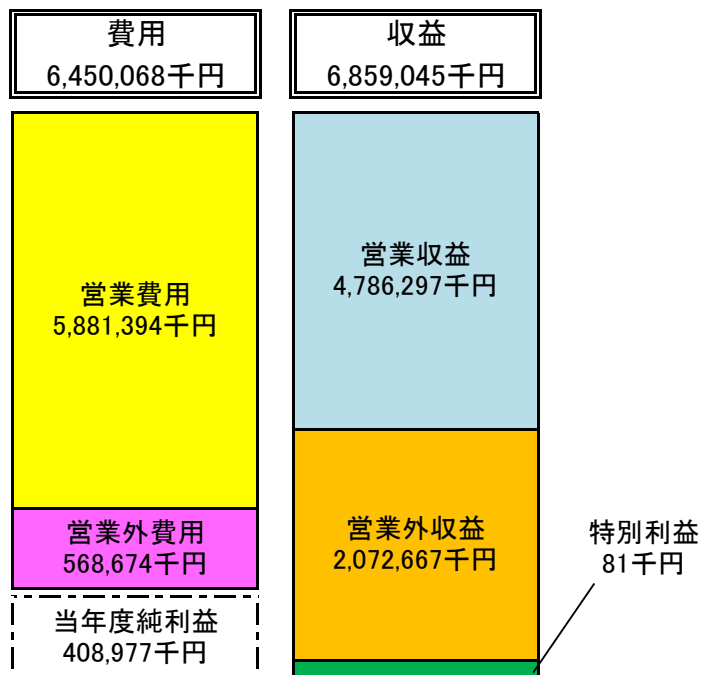


損益計算書は1事業年度における企業の経営成績を明らかにするために、当該年度中に得たすべての収益からそれを得るのに要した費用を差し引くことによって損益の発生原因とその期間の純損益を表した報告書です。

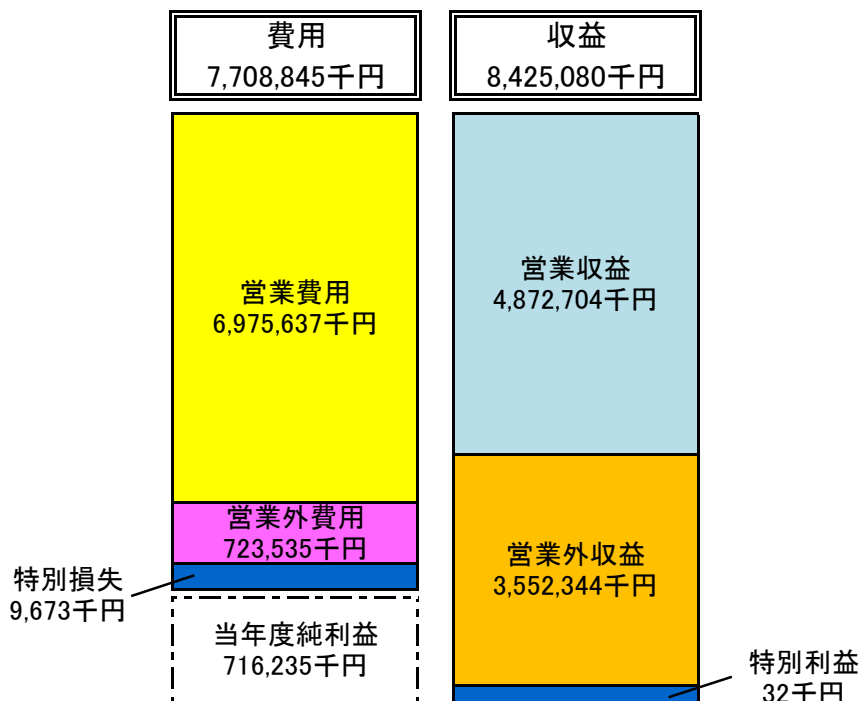
令和5年度は収益が費用を上回り、1,125,212千円の当年度純利益となりました。この利益は下水道の整備に伴い借り入れた企業債の元金償還に充てています。

損益計算書を雨水・汚水別にすると以下の通りです。

雨水



汚水

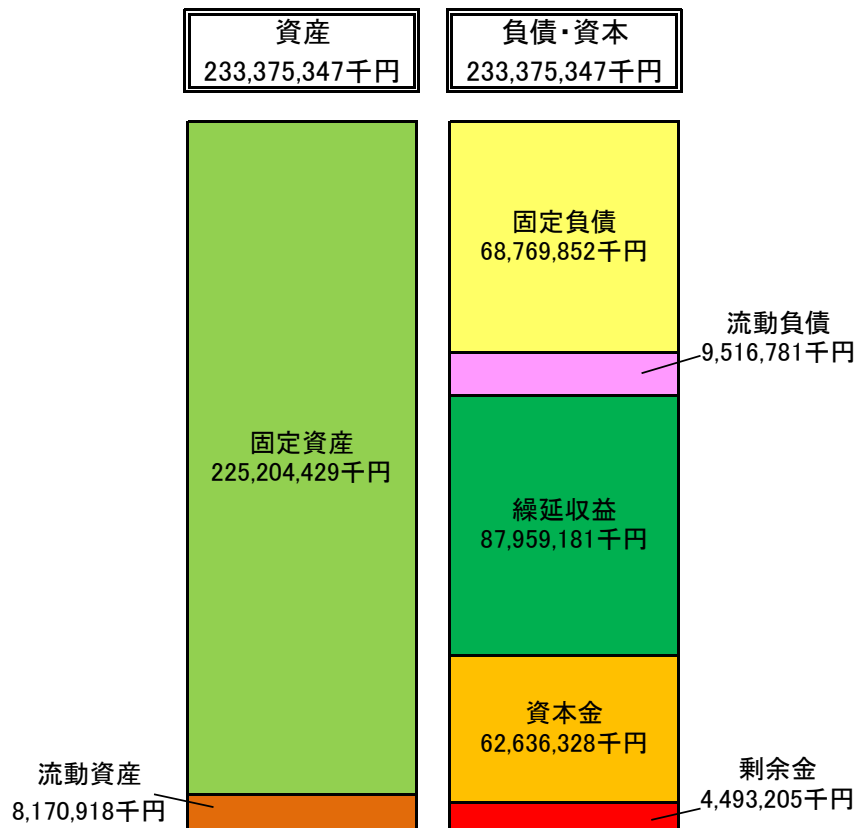


貸借対照表

(令和6年3月31日)

単位:千円(税抜)

資 産 の 部		負 債 の 部	
固定資産	225,204,429	固定負債	68,769,852
有形固定資産	218,554,773	企業債	67,488,916
無形固定資産	6,645,642	引当金	1,280,936
投資	4,014	流動負債	9,516,781
流動資産	8,170,918	企業債	4,952,762
現金預金	6,757,809	未払金	4,480,722
未収金	747,988	引当金	49,322
前払金	665,121	その他	33,975
		繰延収益	87,959,181
		長期前受金	87,959,181
		資 本 の 部	
		資本金	62,636,328
		自己資本金	62,636,328
		剰余金	4,493,205
		資本剰余金	2,202,249
		利益剰余金	2,290,956
資 産 合 計	233,375,347	合 計	233,375,347



貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、年度末において保有するすべての資産、負債及び資本を総括的に表した報告書です。

令和6年3月31日現在、資産（正の財産）のうち94%を有形固定資産（土地、建物、構築物等）が占めています。また、その資産が何によって形成されているかを示しているのが負債・資本です。